

日本福祉介護情報学会ニュース

2011 年度第 2 号

2011 年 10 月 20 日

発行：日本福祉介護情報学会

(<http://jissi.jp>)

埼玉県新座市北野 1-2-26 立教大学コミュニティ福祉学部

森本研究室内 jissi-mail@e-wel.ne.jp

【目次】

1.	第 12 回研究大会のご案内	1
2.	学習会報告	1
3.	東日本大震災に関わる学会調査研究事業の立ち上げについて	2
4.	学会紀要「福祉情報研究」	2
5.	学会ホームページ	3
6.	事務局から	3
	(編集後記)	3

1. 第 12 回研究大会のご案内

日本福祉介護情報学会理事・第 12 回研究大会 事務局
(田園調布学園大学) 村井 祐一

2011 年 12 月 11 日 (日) に田園調布学園大学 (神奈川県川崎市麻生区) にて日本福祉介護情報学会第 12 回研究大会が開催されます。すでに会員の皆様には大会開催要項をお送りしていますが、「3. 11 何が起こったのか ～情報の混乱と活用を検証する～」というテーマとなっております。学会としては初の 2 年連続での継続・発展型のテーマであり、今年度は東日本大震災において何が起こったのかを、福祉情報を切り口に検証する内容となっております。この取り組みから“非日常性における(福祉)情報学”を考えるきっかけにつながればと期待しております。皆様にとって有意義な研究大会となるよう関係者一同、心を込めて開催準備を進めております。

また、午前中には自由研究発表の時間も設けてあります。会場にも余裕があるため、大会テーマに限らず、福祉・介護情報の活用に関する多くの方の研究発表をお待ちしております。

2. 学習会報告

日本福祉介護情報学会理事・学習会担当
(㈱日立製作所) 前田 みゆき

9 月 4 日 (土) 14:00~16:30、大正大学にて、「社会保障・税番号制度」をテーマに、2011 年度の学習会が 65 名の参加者を得て、開催されました。

社会保障と税の番号制度は、今年 1 月の基本方針に基づき、4 月に「要綱」、6 月に「大綱」が公表されています。番号の名称は「マイナンバー」に決定し、可能な限り早期に「番号法案」を国会に提出する予定です。一方、この大綱の大前提となる「社会保障と税の一体改革」も、6 月に「成案」が公表され、政府にて活発に議論されて

います。今回の学習会は、まさに、これからの社会保障分野の方向性を決める旬のテーマをじっくり学習しようという試みでした。

当日は2部構成で、第1部では番号制度の前提となる社会保障と税の一体改革全体について、内閣官房社会保障改革担当室 室長 中村秀一氏に講義いただきました。まず、これまでの社会保障の歩み、財源の推移を丁寧に解説いただき、社会保障と税の一体改革に至った道筋をわかりやすく説明いただきました。その上で、改革の経緯と大綱の内容を、政治イベントでの具体的な議論も織り交ぜながら解説いただきました。

第2部では社会保障・税番号制度について、東京大学大学院情報学環 准教授 山本隆一氏に講義いただきました。なぜ番号制度なのかを疾病構造の推移や各国の対応を踏まえた上でわかりやすく解説いただきました。その上で技術的課題を、浦添市での情報活用基盤の実証事業をもとに、浦添市の成果と今後の課題を織り交ぜながら解説いただきました。

今まさに政局となっている旬のテーマであることに加え、「なぜ一体改革なのか」「なぜ番号制度なのか」という本質的な講義であったため、講義後の質疑も非常に活発に行われました。また、終了後には、今後もこのような政策的なテーマでぜひとも学習会を企画して欲しいというご意見も多くいただきました。

今後も会員の皆さんのニーズに応じて学習会を企画していく予定です。開催を希望されるテーマがありましたら、学会事務局までお知らせください。

3. 東日本大震災に関わる学会調査研究事業の立ち上げについて

日本福祉介護情報学会理事・企画担当
(関西学院大学) 生田 正幸

2011年3月11日に発生した東日本大震災にて被災された地域の皆様、関係の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

当学会としても、微力ながら何らかの取り組みを行わせて頂くことができないか検討を進めてまいりましたが、「福祉・介護の情報化について研究・討議を行い、福祉・介護領域における情報化を積極的に推進し、福祉・介護サービスの高度化を図っていくこと」(設立趣意書より)を目的とする学術団体としての主旨を踏まえ、学会独自の調査研究事業を立ち上げるべく企画・調整を行っております。12月に開催されます研究大会の際には、具体的な報告と提案を行わせていただく予定ですので、会員の皆様のご協力をお願いいたします。

4. 学会紀要「福祉情報研究」

日本福祉介護情報学会理事・学会誌編集委員会
(関西学院大学) 生田 正幸
(北翔大学) 林 恭裕
(全国社会福祉協議会) 古田 清美

諸般の事情で刊行が遅れ、執筆者各位はもちろんこと、会員の皆様にも、たいへんご迷惑をおかけしておりますことを、深くお詫びいたします。

(1) 第7号

現在、鋭意、編集作業を進めております。今、しばらくお待ちください。

(2) 研究大会臨時増刊号

2010年12月12日に関西学院大学大阪梅田キャンパスで開催されました第11回研

究大会におけるシンポジウム「福祉・介護の実践としての情報の活用 ―高齢者介護サービスの効率化と安定化―」を中心した研究大会臨時増刊号を、まもなく刊行予定です。

5. 学会ホームページ

日本福祉介護情報学会理事・ホームページ担当
(田園調布学園大学) 村井 祐一

日本福祉介護情報学会が福祉・介護の領域において永続的に貢献していくために、当学会の研究成果の対外的・対内的な発信や新規学会員の獲得、学会員に提供する学会サービスの品質向上が重要な課題となっています。

ホームページ委員会では、より充実した情報を継続的に発信するために、当学会の広報媒体の中核を担うホームページのリニューアルに向け、継続的な議論を行っています。

現在は、学会としての広報広聴に関する理念・指針・規定の策定と、リニューアル後のホームページに掲載すべきコンテンツ（サイト構成も含む）やリンク情報などのまとめに入っております。

ホームページのリニューアルにつきましては、会員の皆様のご意見・ご要望をお待ちしておりますので info@jissi.jp までお気軽にお寄せください。

6. 事務局から

日本福祉介護情報学会理事・事務局
(東京都社会福祉協議会) 須永 誠

先般、第12回大会のご案内をお届けいたしました。たくさんの方のご参加をお待ちいたします。

なお、大会へのご参加をご検討いただく際には、あわせて「学会の年会費、払っていたっけ？」もご確認いただき、早めの振込みをお願いいたします。大会会場では、現金でのお支払いが可能です。

この封筒のあて先や、ご所属・メールアドレス等に変更が生じている会員におかれは、事務局あてにお知らせください。今年度は、さらに紀要臨時号ほかの送付も予定されておりますが、宅配便は「転送」が利きませんので、支障なきよう、早めのご連絡をお願いいたします。

■会員加入状況 (2011年9月末日現在)

正会員 116名 / 学生会員 21名 / 名誉会員 1名

~~~~~       ~~~~~       ~~~~~       ~~~~~

### (編集後記)

研究大会開催要項とともにニュースレターをお届けすることができず、大変申し訳ありませんでした。

師走の川崎で皆様におめにかかれることを楽しみにしております。

日本福祉介護情報学会理事・ニュースレター担当  
(岩手県立大学) 小川 晃子